

〔全体計画〕 中学部全学年 作業学習（木工班） 学習指導案

日時	令和3年*月*日（*曜日） 9:50～12:25	場所	*棟*階木工室
指導者	柴田 恭平（T1）、** **（T2）		
単元名	校内販売に向けて製品作りをしよう～すのこ作り～		
単元の目標	○働くことについての関心や自分の取り組むべき役割を理解し、作業に必要なとなる基礎的な知識や技能を身に付け、見通しをもって取り組むことができる。（知識及び技能） ○自分のできないことや分からないことを解決する方法を考えたり、相手に報告したり、目的や場に応じた声量で挨拶、返事を考えたりすることができる。（思考力、判断力、表現力等） ○販売する製品を作るということを意識し、作業学習で学んだ知識や技能を基に、グループ間で連携し、協力して製作しようとする。（学びに向かう力、人間性等）		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・グループの作業内容や自分の目標や目標数を確認して、自分の取り組むべき工程を理解して取り組んでいる。 ・作業に必要な道具・工具を正確・安全に使用している。	・分からないことを、相手に伝えるように相談している。 ・声量や周りの状況を意識して、挨拶や返事をしている。 ・安全を意識して、取り組んでいる。	・工程ごとの見本を参考にして、グループの中で作業部品や気を付ける箇所を確認して、製作しようとしている。 ・完成した製品を次の工程グループに繋ぎ、グループ間の連携を意識して取り組もうとしている。
単元設定の理由	本学習グループは、中学部の1年生から3年生まで、男子8人、女子1人の計9人で構成されている。昨年度も木工班に所属していた生徒がいるが、1年生は初めての所属である。木工に関する基礎的な技術の習得には個人差が見られる。手先が器用な生徒が多く、作業時間中集中して取り組む生徒もいるが、教師の言葉掛けが必要な生徒もいる。指示理解については、簡単な内容や何度も取り組んでいる内容であれば、口頭での説明で理解することができる。また、生徒同士のコミュニケーションも増えてきており、製品作りを通して互いに作業手順や相談、報告のタイミングを教え合ったりする様子が見られるようになってきた。 これまでの学習では、名札作りやすのこ作りを行ってきた。製作にあたっては、生徒の実態に応じて工程を分担し、製品を仕上げるという活動を行ってきた。その中で、自分の担当する工程を理解し、習得した技術を発揮しながら自信をもって作業に取り組む姿が見られるようになってきた。しかし、同じ作業を繰り返す中でも、作業時間が長くなるにつれて、木を切断するときに曲がってしまったり、やすりがけが不十分で角がとれていなかったりする等の課題が見られる。自分の役割を理解するとともに、作業への正確さや丁寧さに対する意識の向上も必要であると考ええる。また、作業中の態度に関しては、定着してきてはいるものの、間違えたときや分からないときに、報告を忘れてしまったり遅れてしまったりする生徒がいる。技術面の向上とともに、必要な相談や報告といった場に応じた態度についても定着できる支援が必要であると考えている。 本単元では、作品販売に向けてすのこを製作する。販売するという事で、より手元に集中し、丁寧に作業に取り組むことが求められる。製品の製作工程に関しては、引き続き工程を分担して、一つの製品を協力して作ることで実態に合った指導ができると考えた。また、販売を通して、店頭の商品が自分たちの作った製品だと実感をもつことができ、売れたという喜びや達成感を味わうことができるので、作る目的や意欲にもつながると考えた。技術面の向上とともに就労する上で必要な挨拶や返事、報告といった場に応じた態度についても定着できると考え、この単元を設定した。 指導に当たっては、工程ごとのグループで行い、作業内容や自分のグループを把握しやすいよう、作業工程の写真カードと生徒の顔写真を毎回提示して確認する。目標の設定においては、「○枚仕上げる」などの数値的な目標も設定することで、作業への意欲を高め、成果が目に見えて理解できるようにしたいと考える。		

		単元における生徒の実態	単元における個別目標
単元における生徒の実態及び個別目標	A * 年	- 自分の取り組む作業内容が分かり、丁寧な作業を行うことができるが、疲労してくると集中が切れてしまうことがある。 - 場に応じて挨拶・返事・報告ができる。 - グループの生徒に作業内容を確認し、協力して製作しようとしている。	- 自分の取り組む作業内容を理解し 50 分間集中し、丁寧な作業を行うことができる。(知識及び技能) - 大きな声ではっきりと挨拶・返事報告をすることができる。(思考力、判断力、表現力等) - 正しいやり方を自分からグループの生徒にアドバイスしようとする。(学びに向かう力、人間性等)
	B * 年	- 自分の取り組む作業内容が分かるが、50 分間集中し、丁寧な作業を持続して行うことが難しい。 - 場に応じて挨拶・返事・報告ができる。 - グループの生徒に作業内容を確認し、協力して製作しようとしている。	- 自分の取り組む作業内容を理解し、50 分間集中し、丁寧な作業を持続して行うことができる。(知識及び技能) - 大きな声ではっきりと挨拶・返事・報告をすることができる。(思考力、判断力、表現力等) - 正しいやり方を自分からグループの生徒にアドバイスしようとする。(学びに向かう力、人間性等)
	C * 年	- 他のグループの作業内容が気になったり、疲れたりすると自分の作業に集中して取り組むことが難しい。 - 声は小さいが、場に応じて挨拶・返事・報告ができる。 - 教師が介入することで、グループの生徒と協力して製作しようとしている。	- 自分の取り組む作業内容を知り、決められた時間内、集中して作業を行うことができる。(知識及び技能) - 大きな声ではっきりと挨拶・返事・報告をすることができる。(思考力、判断力、表現力等) - グループの生徒と協力して製作しようとしようとする。(学びに向かう力、人間性等)
	D * 年	- 自分の取り組む作業内容が分かり、最後まで集中して、丁寧な作業を行うことができる。 - 声は小さいが、場に応じて挨拶・返事・報告ができる。 - 困っているときや分からないときに、教師に相談せずに自分で判断をして進めてしまうことがある。	- 自分の取り組む作業内容を理解し、丁寧な作業を最後まで持続して行うことができる。(知識及び技能) - 大きな声ではっきりと挨拶・返事・報告をすることができる。(思考力、判断力、表現力等) - 自分の工程が分からなくなったときは、正しいやり方を自分から教師に相談しようとする。(学びに向かう力、人間性等)
	E * 年	- 自分の取り組む作業内容が分かり、作業を持続して行うことができるが、のこぎりの近くで釘打ちをするなど安全面の意識が低い。 - 教師が必要に応じて言葉掛けをすることで、場に応じた挨拶・返事・報告ができる。 - 教師が言葉掛けをすることで、グループの生徒や教師に作業内容を確認し、協力して製作しようとしている。	- 自分の取り組む作業内容を理解し、安全に最後まで作業を持続して行うことができる。(知識及び技能) - 自分から場に応じた挨拶・返事・報告ができる。(思考力、判断力、表現力等) - 教師やグループの生徒に作業内容を確認し、協力して製作しようとする。(学びに向かう力、人間性等)

	F * 年	- 自分の取り組む作業内容が分かり、一定時間集中し、丁寧な作業を持続して行うことができる。 - 声は小さく早口ではあるが、場に応じて挨拶・返事・報告ができる。 - グループの生徒や教師に作業内容を確認し、協力して製作することが難しい。		- 自分の取り組む作業内容を理解し、最後まで集中し、丁寧な作業を持続して行うことができる。(知識及び技能) - 相手に伝わるような声でゆっくりと挨拶・返事・報告をすることができる。(思考力、判断力、表現力等) - 正しいやり方や作業内容を自分からグループの生徒や教師に確認しようとする。(学びに向かう力、人間性等)		
	G * 年	- 他のグループの作業内容が気になり、自分の作業に集中して取り組むことが難しい。 - 教師が言葉掛けをすることで、挨拶・返事・報告ができる。 - 困っていることや分からないことに、自分から教師に報告することが難しい。		- 自分の取り組む作業内容を知り、50 分間集中して、作業を行うことができる。(知識及び技能) - 自分から場に応じた挨拶・返事・報告ができる。(思考力、判断力、表現力等) - 自分の工程が分からなくなったときは、正しいやり方を自分から教師に相談しようとする。(学びに向かう力、人間性等)		
	H * 年	- 他のグループの作業内容が気になり、集中が切れてしまうことがあるが、丁寧な作業を行うことができる。 - 声は小さいが、場に応じて挨拶・返事・報告ができる。 - グループの生徒や教師に作業内容を確認し、協力して製作しようとしている。		- 自分の取り組む作業内容を理解し、50 分間集中し、丁寧な作業を持続して行うことができる。(知識及び技能) - 大きな声ではっきりと挨拶・返事・報告をすることができる。(思考力、判断力、表現力等) - 自分の工程が分からなくなったときは、正しいやり方を自分からグループの生徒や教師に相談しようとする。(学びに向かう力、人間性等)		
	I * 年	- 自分の取り組む作業内容が分かり、丁寧にに取り組むことができるが、疲労してくると集中が切れ、雑になってしまうことがある。 - 場に応じて挨拶・返事・報告ができる。 - 正しいやり方がわからず、自分で判断して誤ったやり方で進めてしまうことがある。		- 自分の取り組む作業内容を理解し 50 分間集中し、作業を行うことができる。(知識及び技能) - 大きな声でゆっくりと挨拶・返事・報告をすることができる。(思考力、判断力、表現力等) - 正しいやり方や作業内容を自分からグループの生徒や教師に確認しようとする。(学びに向かう力、人間性等)		
単元の指導計画と評価(十三時扱い) 本時は第六時	次・小単元名		時	学習内容・活動	評価規準・評価方法	関連教科等
	1 「校内販売に向けて製品作りをしよう」		1	・各工程のグループに分かれて、それぞれのグループで作成し、工程を理解する。	・自分の担当する工程に、最後まで取り組んでいる。(知・技)〔観察〕 ・自分から場に応じた声量で依頼や報告している。(思・判・表)〔観察〕 ・グループの生徒同士、グループ間で協力して製作している。(主体的)〔観察〕	職業・家庭 自立活動 国語 数学
			2			
			3			
			4			
			5			
			⑥			
			7			
			8			
			9			
10						

	2 「校内販売を しよう」	1 1	・製品を磨く。値段 を決め値札を作 る。製品の搬入 をする。	・ 正確に売上金を計算している。 (知・技)〔観察〕 ・ グループの生徒同士で協力して販売 をしている。(主体的)〔観察〕	
		1 2			
		1 3			

〔本時の指導〕

1 目標

(1) 全体目標

- ・自分の担当する工程で、目標個数分仕上げることができる。(知識及び技能)

(2) 個別目標

- A：自分の作業工程を理解し、50 分間集中して取り組むことができる。
- B：自分の行う活動を理解し、自ら準備をし、作業を進めることができる。
- C：自分に必要な工具を準備し、作業を進めることができる。
- D：困った時や分からない時に、自分から教師に相談することができる。
- E：安全に気を付けながら作業を進めることができる。
- F：大きな声ではっきりと報告・相談をすることができる。
- G：困ったときや分からないときに、自分から教師に相談することができる。
- H：自分の作業工程を理解し、最後まで集中して取り組むことができる。
- I：安全に気を付けながら、作業を持続することができる。

2 展開

※形態の表記は 全体：全、グループ：グ、個別：個

形態 時間 (分)	主な学習活動・内容 (必要に応じて配置図等を入れる)	指導の手立て（各Tの役割等）※評価は□で囲む
全 (10)	1 作業の準備をする。 (1) 作業日誌を記入する。 ・作業内容 ・目標 ・身だしなみチェック (2) 身だしなみを整える。 ・エプロン ・手袋 (3) 部材ケースを準備する。 ・前時に決めた出来高を確認する。	・T 1 は、本時の作業内容を板書し、作業日誌に記入するように促す。 ・本時の目標については、前時の授業で設定したものを確認するように促す。T 2 は、必要に応じて一緒に読み上げることで目標を意識できるようにする。 ・身だしなみチェックは、生徒自身がチェックしたものを、T 1、T 2 が再度確認する。 ・きちんと整えることができている場合は、即時に評価するとともに、改善が必要な場合には、鏡を見て整えるように促したり、教師が指摘したりすることで、次回どうしたらよいかを考えられるようにしたりして定着を図る。 ・作業日誌を書き終えた生徒から、自分の部材ケースを準備するように促す。部材ケースは作業中、机上に置

	(4) はじめの会をする。(進行：A) ①あいさつ ②出席確認 ③先生の話 (5) 目標の確認をする。 ①全体目標 ②個人目標 (6) グループに分かれる Aグループ <table><tr><td>①採寸・けがき</td><td>D・I</td></tr><tr><td>②切断</td><td></td></tr></table> Bグループ <table><tr><td>③やすりがけ</td><td>B・C・F・H</td></tr></table> Cグループ <table><tr><td>④焼きつけ</td><td>A・E・G</td></tr><tr><td>⑤炭落とし</td><td></td></tr></table>	①採寸・けがき	D・I	②切断		③やすりがけ	B・C・F・H	④焼きつけ	A・E・G	⑤炭落とし		くことで常に出来高を確認できるようにする。 ・T 1とT 2は、生徒が正しい姿勢で挨拶や話を聞くことができるよう必要に応じて言葉掛けをする。 ・T 1は、作業の進捗状況により、後半グループの変更があることを伝え見通しがもてるようにする。 ・T 1が、目標を読み上げ、確認することで“今日頑張ること”を明確にし、学習に対する意欲を高められるようにする。 ・T 1は、目標個数を生徒一人一人が発表することで、目標を意識できるようにする。 ・採寸・けがき・切断グループ、やすりがけグループ、焼きつけ・炭落としグループの担当生徒を確認することで、役割を理解して取り組むことができるようにする。 ・グループごとに、部材ケースに貼ってある作業内容や目標数を確認し、学習に対する意欲を高められるようにする。 ・Aグループ(採寸・けがき・切断) Bグループは(やすりがけ)は、T 1が担当し、Cグループ(焼きつけ・炭落とし)は、T 2が担当する。 ・T 1は、作業の進捗状況により、後半グループの変更があるということを事前に伝えることで、生徒が見通しをもって取り組めるようにする。 ・正しく準備できていないB・Cに対して、「写真カードを確認して準備してください」と言葉掛けをすることで、自分に必要な工具を準備することができるようにする。
①採寸・けがき	D・I											
②切断												
③やすりがけ	B・C・F・H											
④焼きつけ	A・E・G											
⑤炭落とし												
グ (50)	2 作業を開始する。(作業①) ・切断では、ペンで切る場所に印をつけ、切る箇所を視覚的に分かりやすくすることで真っすぐ切れるようにする。 ・やすりがけでは、木の周りの淵をペンで色を着け、色が消えるまでやすりがけをすることで、正確にできるようにする。 ・T 1は、Aに作業開始と終了時刻を伝え、みんなに伝えるように促す。 ・T 1は、自分の工程が終わったときは、部材ケースに入れて報告するように伝える。 ・Aに対して、集中して取り組むことが難しいときには、教師に報告して休憩をとるということを作業開											

全 (10) グ (40)	・一つの工程が完成したら、担当グループの教師に検品を依頼する。 ・作業の進捗状況や部材の有無によっては後半、他の工程の作業を行う。 3 休憩をする。 4 作業を開始する。(作業②) ・内容は、作業①と同様。 ・作業の進捗状況により、後半グループを変更する場合がある。	始前に確認し、作業時間内で、集中する時間と休憩する時間を設定することで、最後まで集中して取り組めることができるようにする。 ・Hに対して、周りの刺激が少ない空間に移動したり、パーテーションで対象生徒を囲ったりすることで、集中して作業できるようにする。 ・E・Iに対して、教師と一緒に工具の安全な使い方の確認や作業するときには、必要な工具以外はしまうなどの約束を確認するようにする。正しくできていないときには、「使い方はどうだったかな」「どこに置けば安全かな」と言葉掛けをすることで、安全に取り組めるようにする。 ・戸惑っている様子が見られたD・Gに対して、「分からないときはどうしますか」と言葉掛けをすることで、自分からグループの生徒や教師に依頼することができるようにする。 ・報告の声が聞こえなかったFに対して、「大きな声でお願いします」と言葉掛けをすることで、正しい適切な声量で報告をすることができるようにする。 ・声の大きさが小さいときは、「大きな声でお願いします」と言葉掛けをしたり、声のものさし表を確認したりすることで、声の大きさを適切にすることができるようにする。 A 自分の作業工程を理解し、50 分間集中して取り組んでいる。(知識・技能)〔観察〕 B 自分の行う活動を理解し、自ら準備をし、作業を進めている。(知識・技能)〔観察〕 C 自分に必要な工具を準備し、作業を進めている。(知識・技能)〔観察〕 D 困ったときや分からないときに、自分から教師に相談している。(知識・技能)〔観察〕 E 安全に気を付けながら作業を進めている。(知識・技能)〔観察〕 F 大きな声ではっきりと返事・報告をしている。(知識・技能)〔観察〕
---	---	---

		G 困ったときや分からないときに、自分から教師に相談している。(知識・技能)〔観察〕 H 自分の作業工程を理解し、最後まで集中して取り組んでいる。(知識・技能)〔観察〕 I 安全に気を付けながら、丁寧な作業を持続している。(知識・技能)〔観察〕 自分の担当する工程で、目標個数分仕上げている。(知識・技能)〔観察〕
全 (20)	5 片付け・清掃をする。	・ T 1 は、片付けや清掃をするよう言葉を掛ける。 ・ はじめに T 1 が、清掃が始まる前に「清掃分担表を確認してください」ことを伝えることで、スムーズに生徒が動けるようにする。
全 (25)	6 反省を行い、作業を終了する。 (1) 反省を記入する。 ・ 仕上げた製品の出来栄の確認 ・ 目標に対しての評価 ・ 頑張った、できなかったこと ・ 次回、頑張ること (2) 終わりの会をする。(進行：A) ① 反省発表 ② 先生の話 ③ 終わりのあいさつ	・ T 1 は、反省用紙に反省を記入するように促す。 ・ 自分の仕上げた製品の出来栄や個数を確認することで、本時の成果と次時への目標を考えることができるようにする。 ・ T 1 は、出来上がった製品を全体に知らせ、製品の出来栄やそれぞれの作業への取り組みについて評価し、達成感や次への意欲をもてるようにする。 ・ 次回の活動についての説明をすることで、生徒が活動の見通しをもつことができるようにする。

【板書計画】

作業内容

「すのこ作り」

全体目標

①採寸・けがき

②切断

③やすりがけ

④焼きつけ

⑤炭落とし

写真

枚

9:50~10:00 はじめの会

10:00~10:50 作業①

10:50~11:00 休けい

11:00~11:40 作業②

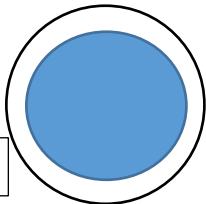
11:40~12:00 片付け・掃除

12:00~12:20 反省記入

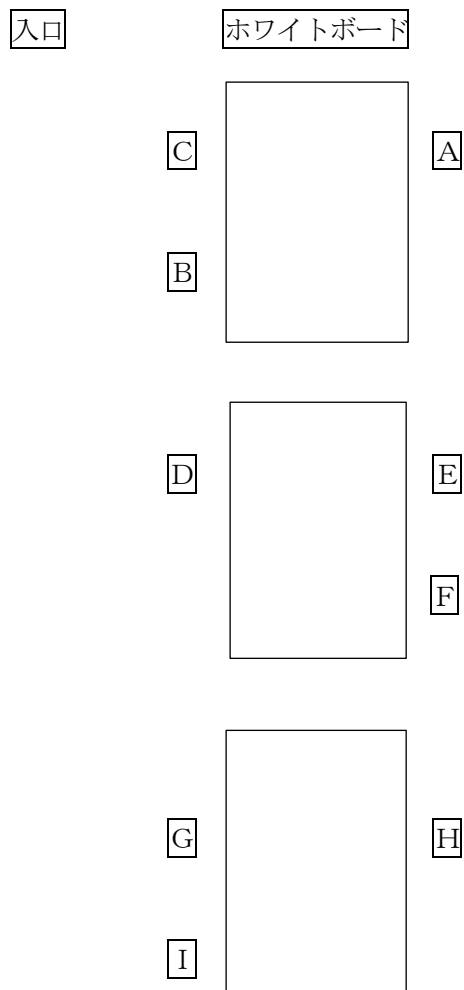
12:20~12:25 終わりの会

○目標個数分仕上げることができる。

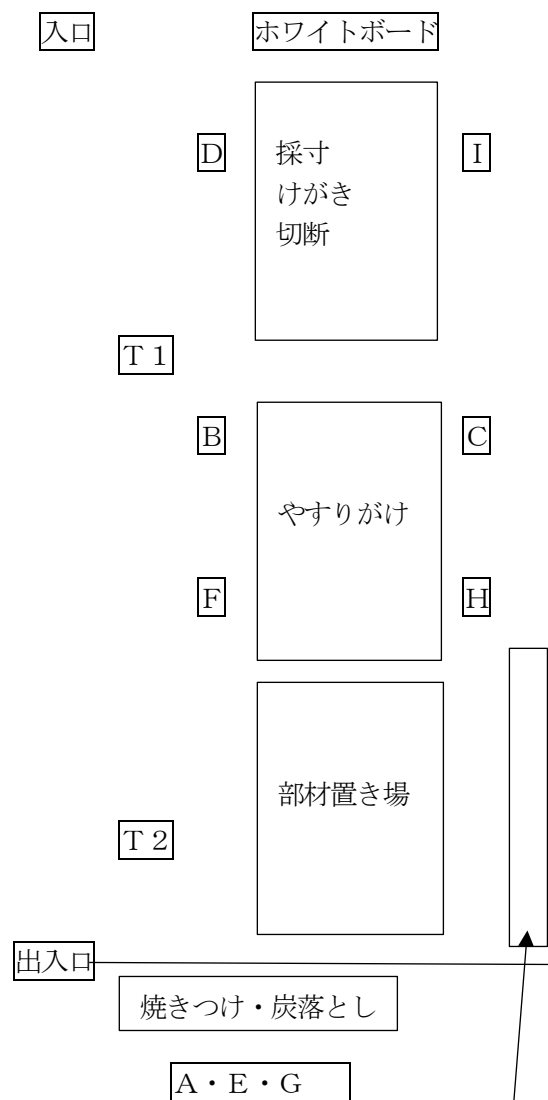
掃除分担表



【配置図】 作業開始前・後



【配置図】 作業中



※焼きつけ・炭落としは屋外で行う。

周囲が気になる生徒が作業する机
※グループに対して背を向ける。

